

兵庫県立大学 看護学研究科

多様なニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン

がん看護高度実践看護コース(ゲノム医療に強いがん看護専門看護師コース) / ケアプログラム開発者養成コース / インテンシブコース

ご挨拶

兵庫県立大学 看護学研究科
教授 川崎 優子

近年、がん医療における重点課題として、がんゲノム医療、小児がん及び希少がん、AYA世代や高齢者のがん患者への対応が求められています。がん看護学では、①がんの予防や健康教育、②診断・治療に伴う意思決定支援、③がん患者の症状緩和、④医学的管理能力と生活調整能力の統合化、⑤組織の中でがん看護の質改善等を行う能力を養います。また、がん看護に関する研究能力の基盤を形成することを目指します。

がん看護実践の課題が見えてきた時こそ、大学院へ進学するチャンスです。本講座ではすでに70名を超える修了生が全国で活躍し、教育支援をしてくれています。また、がんプロ連携大学の大学院生(専門医、がん専門薬剤師、医学物理士、細胞検査士)と合同研修を行う機会もあります。がん看護に携わることをライフワークにしたい方、お待ちしております。

兵庫県立大学 看護学研究科にはこんなメリット!!

- ・日本看護協会 **専門看護師(がん看護)の資格取得に必要な単位取得、実務研修**ができます
- ・**がんゲノム医療**に対応するための充実した教育を受けられます
- ・**次世代の”がん看護”**を見据えた、講義・実習があります
- ・**多数の高度実践看護師コース**を有しているため多角的な視点から学びを深めることができます
- ・**多数の修了生を輩出**しているため、在学中にキャリアデザインを描くための支援が得られます
- ・長くがん看護に携わってきた教員による、**高度かつきめ細やかなサポート**が受けられます
- ・文科省の実施する「多様なニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン参加により実現できる、**多職種や他大学との連携、がんを専門とする講師による充実した講義、最新の医療**に関わることができます

がんプロ

兵庫県立大学 看護学研究科では、文科省の「多様なニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン(がんプロ)」に参加しており、がんについて充実した専門教育を受けることができます。兵庫県立大学は、全国で11拠点あるうちの、大阪大学を中心とするグループで活動しています。



担当教員紹介

川崎 優子

博士(看護学)
(がんプロコース責任者)

兵庫県立大学看護学部教授。
2003年から兵庫県立看護大学
助教を経て、2009年より同大学
で講師を勤めながら、2012年兵
庫県立大学 看護学研究科博士
後期課程修了。2012年より准教
授、2020年より教授として、が
ん患者の shared decision
making、遺伝性腫瘍患者のケア
などについて研究を進めなが
ら、看護技術、症状マネジメント、
がん看護、看護コンサルテ
ーションなどを教授していま
す。

日本看護科学学会会員/日本がん
看護学会評議員/日本遺伝性腫瘍学
会理事/日本遺伝看護学会会員
/Oncology Nursing Society 会員/
日本緩和医療学会会員/日本消化器
病学会会員/日本家族性大腸腺腫
症研究会 (FAP 研究会) 正会員

角甲 純

博士(医学)/がん看護専門看護師
(がんプロコース担当者)

兵庫県立大学看護学部准教授。
2007年から国立がんセンター中
央病院勤務を経て、2012年東京
大学大学院 健康科学・看護学専攻
がん看護専門看護師教育コース
修了し、専門看護師(がん看護)
認定。2018年より広島大学で助
教として教鞭をとりつつ、2020
年東京医科歯科大学大学院 医
歯学系専攻博士課程 全人的医療
開発学系 心療・緩和医療学分野
を修了、医学博士を取得。2020
年10月から本学准教授として、
主にがん患者の症状緩和につ
いて研究活動・教育活動をして
います。

日本専門看護師協議会会員/日本
がん看護学会会員/日本看護科学
学会会員/日本緩和医療学会会
員/日本サイコロジ学会会員/
日本がんサポーターケア学会会
員/日本口腔ケア学会会員/
Multinational Association of
Supportive Care in Cancer 会
員/Oncology Nursing Society
会員/NPO 任意団体プチボス
ール副会長

山岸 美紀

修士(看護学)
(がんプロコース担当者)

兵庫県立大学看護学部客員教
員。

2003年国家公務員共済組合連
合会虎の門病院勤務を経て、
2010年に兵庫県立大学大学院
看護学研究科博士前期課程を
修了、がん看護専門看護師を取
得。専門看護師としての活動の
他、外来化学療法センター拡充
や HBOC 外来の設立、院内に
おける教育・研究活動等に携わ
り、2021年4月からは多様な
新ニーズに対応する「がん専門
医療人材(がんプロフェッショ
ナル)養成プラン」の客員教員
として教育活動を行っています。

日本看護科学学会会員/日本がん
看護学会会員/日本がん治療学
会会員/日本遺伝性腫瘍学会会
員/Oncology Nursing Society
会員/日本緩和医療学会会員

コース紹介

①がん看護高度実践看護コース(ゲノム医療に強いがん看護専門看護師コース)

近年、がん医療における重点課題として、がんゲノム医療、小児がん及び希少がん、AYA世代や高齢者のがん患者への対応が求められています。がん看護学では、①がんの予防や健康教育、②診断・治療に伴う意思決定支援、③がん患者の症状緩和、④医学的管理能力と生活調整能力の統合化、⑤組織の中でがん看護の質改善等を行う能力を養います。また、がん看護に関する研究能力の基盤を形成することを目指します。

②ケアプログラム開発者養成コース

看護は、人々の健康回復を直接的に支援する様々な機能があります。治療看護学では、ケアリングをコア概念としてそのような看護の機能を具現化し、様々なシーンで実用できるプログラムとして開発する研究を通し、学生が看護の知を生み出すことを支援しています。

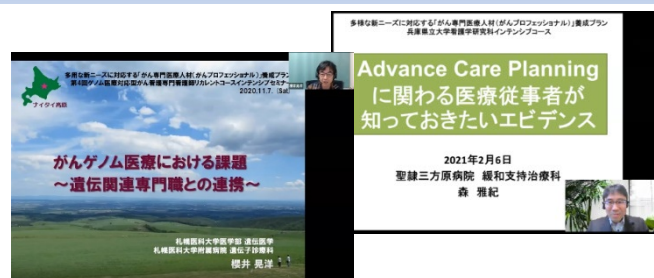
③インテンシブコース

主に専門看護師などの医療従事者向けにインテンシブセミナーを多数開催しています。インテンシブセミナーでは、それぞれの専門分野の講師をお呼びして最新の状況を交えてご講演いただくだけでなく、その内容を生かしたディスカッションやワークなどを行って理解や対応能力を深めています。

イベント

●インテンシブセミナー

2020年度は、Web(Zoom)で、認知症やACP、がんゲノムなどをテーマとした専門看護師向けのセミナーが開催されました。このほか、年数回程度院生向けの講義を公開授業として、近隣の医療従事者にも開放しています。



●多職種・多領域参加の合同研修会

大阪大学拠点下の各大学のそれぞれが得意とする領域から持ち寄られる課題に対して、医師、看護師、放射線技師などの多様な職種・領域を専門とする院生や教員が集まってディスカッションを行う、多職種・多領域参加の



合同研修会に毎年参加しています。また、他大学との遠隔講義に参加したり、毎月行われる大阪大学が行うキャンサーボードに参加したりと数多くの他大学との学びの機会を持つことができます。

●患者交流会に参加

大阪大学拠点下の各大学が主催する患者交流会に参加しています。院生向けの研修の一環として行われているため、各府県の特有の問題に触れたり、さらには希少がんなどの症例が少ない患者の声を聴いたりすることができます。

修了後の活動

●兵庫 OCNS 会

兵庫 OCNS 会は、本学研究科のがん看護学を修了したがん看護専門看護師やその候補生により運営されており、がん看護専門看護師としての活動に関する情報交換やメンバー間のネットワークを深め、個々のキャリア開発に寄与することを目的としています。



最近では、がん患者指導管理料の算定や APN としての役割開発などのテーマについて講演やディスカッションを行っています。修了生用のホームページもあり、修了生からの情報発信をすることもできます。

●がん看護研究班

がん看護学の修了生を中心に、「がん患者のセルフケア能力を引き出すグループ療法の開発」や「症状マネジメントに関する研究」「がん看護を担う看護師向けのコンサルテーション技術の開発」などの研究に取り組んでいます。

- ・がん症状マネジメントにおける看護介入モデルの症状別臨床普及版の開発

<http://sm-support.net/>

- ・乳がん患者のための症状改善プログラム

<http://sm-support.net/breast-cancer/message.php>

- ・がん患者用パンフレットの制作

http://www.coe-cnns.jp/group_cncr/index.html

- ・がん患者用の Web 版意思決定看護支援プログラムの開発

<http://sdminoncology.sub.jp/index.html>



修了生の声

21期生 がん診療拠点病院勤務

臨床から大学院へ。私の変わったところ

私は、臨床の中で自分が同じようなところでケアに行き詰まることを繰り返し、当時はそれが限界なのだと思っていました。でも、本当にそうなのだろうか、本当の問題を見つけ解決する方法を身につけたい、と看護学研究科を目指しました。在学中は出来ないことだらけの日々でしたが、先生方のケア的な指導や同期との支え合いのお陰で多くの学びを得ることが出来ました。修了後、自分が進学前とは違った観察の視点や思考に変化していることを感じています。

18期生 がん診療拠点病院勤務

がんプロフェッショナル養成プランの学び

私は、がん看護の基礎を学びたい思いで大学院に進学しました。がんプロフェッショナル養成プランの講義は、国内外の著名な講師陣により、看護理論や最新のがん治療について基礎をしっかり学ぶことが出来る内容でした。

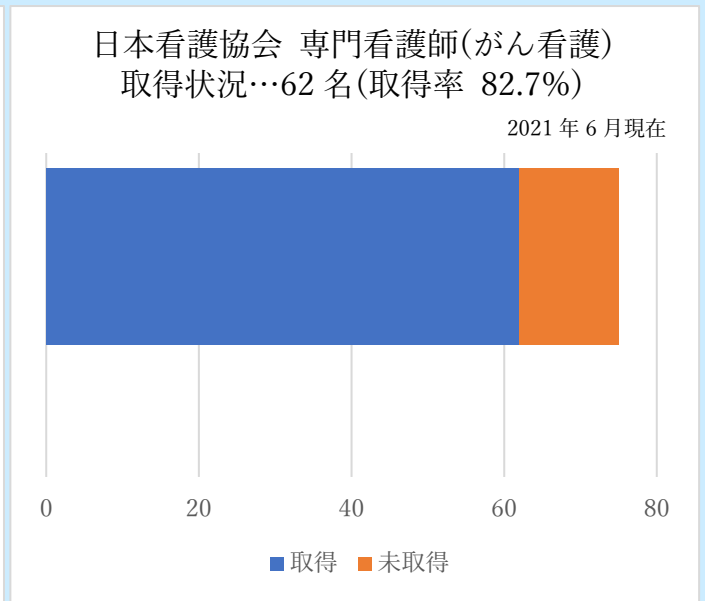
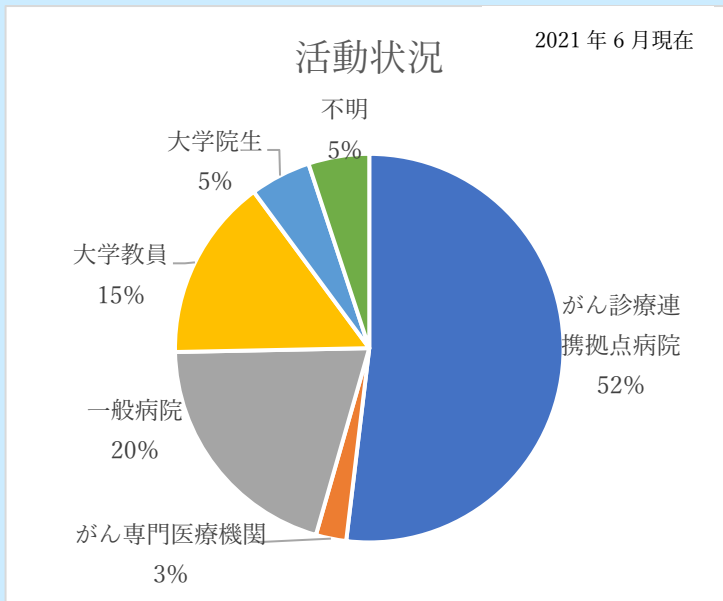
また、共通する仲間や多職種との事例検討を通し、私自身の思考を整理することができました。受講を通し、がん看護専門看護師に求められる専門性や俯瞰する視点を養うことができたこと活動を通し実感しています。

13期生 大学院生(博士)

看護学研究科で学んで

私が専門看護師(CNS)を目指したきっかけは、同じ職場で働く先輩CNSの存在でした。臨床で困難に直面した際に先輩CNSの高い実践能力に何度も助けられ、自らもがん看護の専門性を高めたいと思い進学を決めました。看護学研究科では、看護学やがん医療など様々な分野に精通した先生方から学ぶとともに仲間と切磋琢磨することを通して高い看護実践能力を養うことが出来たと感じており、これまで以上に臨床のやりがいにつながっています。

修了生の活躍



問い合わせ先

兵庫県立大学看護学部 総務課内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL : 078-925-0860 FAX : 078-925-0858

兵庫県立大学看護学研究科基礎科学分野

<http://www.apnhyogo.net/>

